

カミキリムシ 4 種 (サドチビアメイロ, ジュウモンジニセリango, ミセンヒメハナ, コウヤホソハナ) の兵庫県内の記録

小西和夫¹⁾

サドチビアメイロカミキリ本土亜種 *Obrium obscuripenne takakuwai* Niisato, 2006 (図 1, 図 4)

「兵庫県のカミキリムシ」に「全国的にも稀な種」として赤西, 音水溪谷の記録があるが, 但馬での記録は見当たらない。「日本産カミキリムシ大図鑑Ⅱ」では「野外では通常採集が難しい種」とあるが, 筆者は但馬の 3 か所で確認している。

最初の出会いは 2020 年 6 月 6 日の香美町相岡。道路脇の日陰に咲くミズキの花 (図 2) を掬い, トゲヒゲトラカミキリ数頭と小さな花が底に溜まったので網を反そうとした時, 白い花卉の中に赤い小さな 2 頭が動くのが目に留まった。体長 4 ~ 5mm 程の小さな, 赤味がかった暗褐色が美しいペアである。

「成虫の活動範囲は狭いようで, 近くに食樹があるこ

とが多い」(大図鑑Ⅱ)とあるので, 後日現地を確認したところ隣にケヤキの古木 (図 3) があり, 他にアオダモなどが見当たらないことから, この樹がホストである可能性が高い。

一度視認すると目に止まりやすくなるのか, 2021 年は御崎・三尾林道のゴトウヅルの花から 6 月 14 日 2 頭, 6 月 25 日 1 頭, 2024 年 6 月 12 日には鉢伏高原のツルウメモドキの花からも 1 頭を得ている。全身が明るい黄褐色のものから頭部や胸部が黒褐色の個体まで上翅や体の色には変異が多いようだ。

但馬地方に広く分布していると思われるが, 成虫は極めて小さく, また網の中の動きも緩慢なため見逃しているケースが多いのかもしれない。



図 1. サドチビアメイロカミキリ (左 2021.6.25, 右 2024.6.12).



図 2. ミズキの花.



図 3. ケヤキの古木.



図 4. サドチビアメイロカミキリ (左 2021.6.25, 右 2024.6.12).

¹⁾ Kazuo KONISHI 兵庫県西宮市

ジュウモンジニセリンゴカミキリ *Eumecocera minamii* Makihara, 1984 (図5)

永幡 (1997) が「兵庫県北部では発表された記録があるかどうかは不明だが、村岡町や生野町で採集されている」と報告しているが、「兵庫県のカミキリムシ」では採択されておらず、「今後生息の確認が期待される種」として挙げられている。

筆者はハチ北高原で2021年7月11日, 2022年6月10日, 2023年6月20日, 2024年6月4日, それぞれ各1頭を確認している。いずれも大きなハルニレの樹 (図6) の生葉を掬って, クロニセリンゴカミキリやシラホシキクスイカミキリなどとともに網に入ったものである。

ミセンヒメハナカミキリ *Pidonia misenia* S.et A.Saito, 1992 (図7)

各種図鑑に紀伊山地や飛騨山地, 御嶽山とともに氷ノ山が産地として挙げられているが, なぜか「兵庫県のカミキリムシ」には採録されておらず, 採集記録も見当たらない。

2018年5月24日, 氷ノ山林道のウワミズザクラの花掬いでキベリクロヒメハナカミキリなどとともに1頭が網に入った。



図5. ジュウモンジニセリンゴカミキリ (左 2023.6.20, 右 2024.6.4).

コウヤホソハナカミキリ *Strangalia koyaensis* Matsushita, 1933 (図8)

四国や南紀では優占種だが県内の記録は見当たらない。筆者は2018年7月23日に岡山, 鳥取, 兵庫の県境近くの若杉原生林 (岡山県西粟倉村) で複数頭を確認したことがあり, 兵庫県にも生息しているのではと考えていた。

2024年7月18日, 三室山の林道で杉や檜の植林地近くのノリウツギの花を掬って, 多数のヨツスジハナカミキリに交じって1頭を得た。

これら4種は, 近年の小椋 (2019, 2023) の報文にも記載がないため, ここに報告しておく。

参考文献

- 小椋隆, 2019. 兵庫県但馬地方のカミキリムシ. ゆらぎあ, (37): 23-36.
 小椋隆, 2023. 兵庫県但馬地方のカミキリムシⅡ. ゆらぎあ, (41): 3-13.
 永幡嘉之, 1997. 兵庫県北部におけるトホシカミキリ族の後食習性. IRATUME, (21): 1-6.
 廣田嘉正・三木三徳・八木正道, 2001. 兵庫県のカミキリムシ.
 藤田宏・平山洋人・秋山勝巳, 2023. 日本産カミキリムシ大図鑑Ⅱ.



図6. ハルニレ大木.



図7. ミセンヒメハナカミキリ 2018.5.24.



図8. コウヤホソハナカミキリ 2024.7.18.